



自分の将来を考えよう ～地域の魅力を伝えながら、働くことの意義を学ぶ～

キーワード

起業体験／販売体験／農業体験／地域連携／複式教育／他校種連携

取組概要

地域の農家の方々や観光農園、キャリアコンサルタントや税理士と連携し、起業家教育の学習プログラムを作成し、実践している。

5・6年生の児童が、地域で育てたナスやイチゴ等の農作物の販売体験、マーケティングやブランディング学習、収支計算から新たな課題を発見し、次の取組につなげるといった一連の起業体験活動の取組を進めている。

基礎情報

全校児童数：42名（中学年と高学年は複式学級）
広島市の北部に位置する安佐北区白木町に所在しており、豊かな自然に恵まれている。

起業体験活動に令和5年度から取り組んでおり、生活科、総合的な学習の時間を軸に取組を進めている。

学校

取組の詳細

地域の農家や観光農園、キャリアコンサルタント、税理士と連携し、5・6年生児童は以下のような取組を行っている。

【前期：夏野菜、後期：イチゴの販売体験】

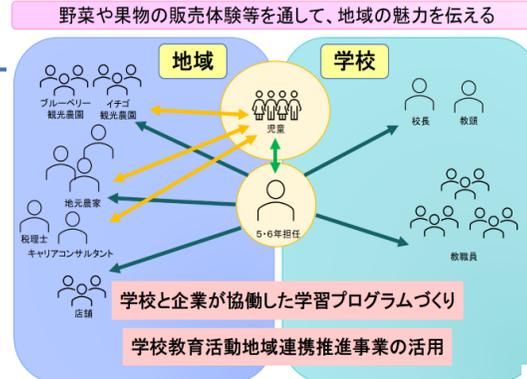
- これまでの学習を基にした課題設定
- 農業体験
- 販売計画の作成（場所・対象・方法・価格）
- 販売準備（販促物の作成・収穫・梱包）
- 販売体験
- 収支計算と振り返り
- 成果や課題の整理

〈発展的な体験活動〉

- 市立商業高校が運営するイベントでの販売体験
- 高校生から学ぶ接客方法

〈年度のまとめ〉

- 1年間の学習の振り返り
 - ・ 5年生：自らの成長と次年度の目標について
 - ・ 6年生：自らの成長や将来へ思いについて



成果

地域の魅力を伝えるために農作物の販売等を通して、児童は基礎的・汎用的能力を培い、職業観・勤労観、そして、地域への愛着を深めている。また、学校を中心に地域のつながりを深める一助となっている。

課題や今後に向けて

毎年度、児童が経験を通して課題を見つけ、その解決に向けて取り組むことで、学びを継続的に深めていく必要がある。

推薦教育委員会名：（広島市教育委員会）